

アイスクリーム

妻は、子供達の小さいときのエピソードをよく覚えている。この前アイスクリームを二人で食べて居たとき、思い出して話してくれた。

洋一が小学四年、二郎は二年の頃ソロバンの競技会に荒町の会場に二人で出掛けた。夏の暑い日だったので仕事が忙しく見に行けなかったようだ。

二人共なにかしの賞状を貰って帰って来た。行くときはバスに乗って行ったのに、帰りは一時間近くもかかり、歩いて帰って来たとのこと。往復のバス賃や小遣いを充分な位持たせたのに、どうしたのと聞いたたら、アイスクリーム食べたくなり、買って食べたらバス賃が足りなくなつたと云う。その日は暑い日だったので沢山買って食べたのだろう。

私は仕事に夢中になって居たので子供達の事は妻任せだった。音楽教室、書道教室、絵画教室、ソロバン教室、カブスカウト、ボーイスカウト等子供達が行きたい所はやっていた。

やりだしたら二人共止めるとは云わなかった。幼稚園の時などは何かの都合で止めなさいと云うと泣き出す始末だった。

アイスクリームの話聞いて、ほほえましい子供達の小さい時の姿を思い出し、私達の若かりし時代に立ち返った気分になった。